

第6学年 道徳学習指導案

坂町立横浜小学校
指導者 山本 めぐみ

- 1 日時 平成24年6月8日(金) 第5校時
- 2 学年・学級 6年1組(男子11名 女子13名 計24名)
- 3 主題名 「真心のこもったあいさつ」 内容項目2-(1)礼儀
- 4 ねらい 友だちの「ちひろ」のあいさつに触れ、「今度は私も・・・」と変わっていった主人公の心の変容について考えることを通して、相手の立場に立って、心のこもった接し方をしようとする態度を育てる。
- 5 資料名 「今度は私も・・・」(自作資料)

6 主題設定の理由

○主題観

礼儀とは、単なる形式ではなく相手を尊重する気持ちや感謝の念を心と形で表現することである。社会生活では、社会のきまりにあった動作や作法を、時と場をわきまえて行うことが必要である。さらに、相手の立場に立って心をこめて接することが温かい人間関係をつくる上では重要となる。これらを踏まえ、相手の立場に立って心のこもった接し方をしようとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

○児童観

本学級の児童は、素直で、良いことはやってみようとする児童が多い。そのため、あいさつをすることは自分にとっても、相手にとっても良いことだと分かっていて、学校の中では、自分からあいさつをしたり、聞こえる声で返事を返したりできる児童も多い。しかし、登下校や地域の行事など、学校以外の場所では、自分からあいさつできなかつたり、小さな声で返事をしたりするなど、どの場面においても相手の立場に立って心のこもった接し方ができる児童は少ないのが実態である。

○指導観

本資料は、坂町の地域行事であり、多くの児童が参加している「あいさつパレード」を題材に、いつも何となくあいさつをしたり、知らない人だとあいさつするのをためらったりしている「私」が、「あいさつパレード」で他の人や友だちの「ちひろ」のあいさつに触れ、自分がしていたあいさつを振り返り、心のこもったあいさつをしていこうとする内容である。心のこもったあいさつが人の気持ちを動かし、よりよい人間関係を築くことにつながることに気づかせ、ねらいとする道徳的価値に迫っていきたい。

指導にあたっては、実際に、「あいさつパレード」で使用されているのぼりや、「あいさつパレード」の写真を提示したりすることで、体験を想起させたい。また、主人公の「とまどってあいさつできなかった。」という思いや「ちひろ」のことをまぶしく思う気持ちを、自分の体験と重ねて考えさせたい。

中心発問の場面では、ワークシートを使用し、自分の考えをしっかりと、話し合うようにさせたい。また、展開の後半では、事前に行った「あいさつしない実験」で感じたあいさつをしない気持ちの悪さについて振り返ることで、あいさつをしたいという思いをもたせるようにさせたい。

終末では、あいさつに関する詩を読み聞かせ、これからの人との接し方について考えさせていきたい。

7 準備物

あいさつパレードの写真・のぼり、登場人物の挿し絵、ワークシート、心のノート

8 指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	留意点及び支援の工夫
導 入	1 ねらいとする道徳的価値に関わる体験を引き出す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">こののぼりをどこかで見たことがありますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつパレード。 ・町民センター。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「あいさつパレード」で使われていたのぼり「あいさつは、人より先にわたしから」を提示し、「あいさつパレード」について想起させる。
展 開	2 資料を読んで話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「あいさつパレード」の会場に着いた時、私はどんな気持ちだったでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・暑いし、疲れるなあ。 ・知らない人も多いから、あいさつするのははづかしいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">なぜ、おじさんとちひろさんの周りは光がさしたようにまぶしかったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人なのに、とても仲よく見えるから。 ・気持ちが通じ合っているように見えるから。 ・あいさつしたことで、親しくなって楽しそうに見えるから。 ・できなかった私よりもちひろの方が輝いて見えたから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">どんなことを考えながら「今度は私も・・・」と決意したのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ちひろのように、あいさつしてみよう。 ・自分から言ってみよう。 ・私は、あいさつは、ただすればいいと思っていただけ、相手に伝わるようにすることが人とつながる事なんだと分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私の顔」を二種類用意し、気持ちの変化を分かりやすく提示する。 ○ 「あいさつパレード」の様子の写真を提示し、場面把握をさせる。 ○ 二人の様子から、私とちひろの心の違いに気づかせていく。
	3 生活を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">誰ともあいさつをしなかった時、自分の心の中はどうだったでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な気持ちだった。 ・つながりがなくなった感じがした。 ・気持ちがすっきりせず、あいさつしたくなかった。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈言語活動の充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吹き出しのあるワークシートを活用し、書く活動を通して、「私」の気持ちについての自分の考えをもたせる。 ○ 発表し合う中で自分の感じ方や考え方と友だちの考えを比較しながら考えさせ、自分の考えを深める。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に「あいさつしない日」を設定しておき、「心のノート」の一部に、感想を書かせておく。

(ねらいとする道徳的価値に迫るための補助発問)
会場に着いた時の気持ちと、どう変わったでしょう。
そんなふうに気持ちが変わったのはどうしてでしょう。

終末	4 教師の説話を聞く。	この笑顔に、うれしさや、優しさがあふれていますね。	○ あいさつパレードの時の写真（坂町版心のノートより抜粋）を掲示し、あいさつに関する詩を読み聞かせ（BGM使用）、気持ちのよいあいさつや、相手を思って人と接することのよさを感じ取らせるようにする。
----	-------------	---------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

9 板書計画

自分から心のこもったあいさつ

- ・ ちひろさんみたいになりたい。
- ・ 自分から言ってみよう。
- ・ 相手に伝わるように言おう。

「今度は私も・・・」

・ 知らない人なのに親しそうだなあ。
・ 気持ちが通じ合っているみたいだなあ。

今度は私も・・・

会場に着いた時

- ・ 人がたくさんいて、いやだなあ。
- ・ 暑いし、疲れるなあ。

あいさつパレードが始まって

- ・ 何となくあいさつする。
- ・ 知らない人だと、とまどう。

おじさんとちひろの周りは光がさしたようにまぶしかった

・ うらやましいな。
・ 私にはできなかった。
・ ちひろは私よりも輝いて見える。

あいさつしなかったら・・・

- ・ 嫌な気持ちだった。
- ・ つながりがなくなった感じがした。
- ・ あいさつしたくなる。